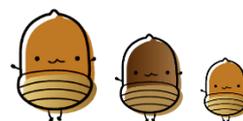


ホイクマ通信



第25号



まだ暑い日もありますが、少しずつ秋の気配を感じられるようになってきましたね！これからの時期は、運動会や遠足、発表会や作品展などの行事に向けた活動も多くなる頃かと思います。準備は大変ですが、保育者も一緒に活動を楽しみながら、子どもたちの成長を改めて感じられる機会にしていきたいですね♪
さて、今回も皆さまからお寄せいただいたお声をご紹介します♪

ホイクマ通信（24号） みんなのアンケート 結果発表！

《子どもの主体性をのばすための工夫》

♪環境設定♪

- ◆好きな活動を自ら選択して遊び込むことができるよう、玩具や用具の用意や、場所を整える。
- ◆子どもの意見や興味・関心の広がりなどに応じて、その都度子どもと相談しながら、玩具や用具の入れ替えや追加等をして、変化させていく。

♪保育者の関わり♪

- ◆最低限のルールや用具を使う際に必要な安全面での約束などは必要に応じて伝えた上で、遊び方・使い方・過ごし方などを子どもが考えながら行うことを大切にする。
- ◆自由遊びの時間は特に「これで遊ぼう！」などと職員からの声掛けや誘導はせず、子どものやりたい気持ちや、集中に合わせて、まずは見守る姿勢を大切にする。
- ◆けんかの際はすぐに仲裁をせず、まずは動向を見守る。保育者が良し悪しを判断して伝えるのではなく、子どもの気持ちを聞きながら、どうしたら良いかを一緒に考えていく。

「主体性を大切にしたい保育って何だろう？」と試行錯誤しながら実践されている方が多い印象でした。まずは子どもの姿をよく観察することを意識しながら、必要な関わりを考えていけると良いですね♡



《あなたが思う保育の魅力とやりがい》

◇ここが魅力！◇

- ♡子どもの成長（ハイハイで入園した子が初めて立った瞬間、歩き出した瞬間など）に立ち会えること。
- ♡言葉でやりとりができるようになり、自分の名前を呼んでくれたり、「せんせいだいすき！」と言ってくれたりすること。
- ♡子どもたちの生き生きとした姿や表情を間近で見られること。
- ♡手を広げると子どもたちが駆け寄って抱きつきに来てくれること。



「子どもの可愛い姿を見られること！」というお答えがとても多かったです♪

◇やりがいを感じる瞬間◇

- ♡自分が提案した遊びを「またやりたい！」と言ってくれたとき。
- ♡自分の得意なこと（ピアノ等）が活かされたとき。
- ♡保護者からお礼の言葉をもらったとき。
- ♡卒園した子どものその後の成長に触れられたとき。
- ♡子どもと信頼関係が築けて、自分を指名して甘えてくれたり、話してくれたりするようになったとき。
- ♡自分の援助や声掛けによって、できなかったことができるようになっていく姿を見られたとき。

お忙しい中たくさんのご意見やエピソードをお寄せ頂き、ありがとうございます♪
主体性を大切にしたい保育を考えることは、日頃の保育を振り返るきっかけにも繋がったのではないのでしょうか。また、これから保育に携わることを考えている方には、子どもを主体とした保育の参考になれば嬉しいです。

保育の仕事は子どもとの関わりなどで悩むことも多いですが、その分魅力ややりがいも多い仕事です♪子どもの笑顔溢れる環境を大切にしていきたいですね☆

子どもに人気の出し物



配慮が必要な子どもへの対応



誕生会や行事などの特別な活動の際に、日ごろ行う手遊びなどとは異なる『特別な出し物』を行うことがあるかと思います◎ホイクマも誕生会の時には、簡単な手品や、職員数名で行うペープサートにパネルシアターなどの出し物をしていました！特に手品では、目をキラキラとさせて熱中して見入っている子どもたちの姿がとても印象に残っています♪

さて、皆さんの園で子どもに人気の出し物がありますか？「行事の時にはいつもこれをやっています！」「子どもたちの反応がよかった出し物はこれです！」「この絵本を題材にして作った〇〇が人気でした！」など、子どもに人気の出し物を教えてください♪
「次はこんな出し物に挑戦してみたいです！」という出し物のアイデアもあればお聞かせください♪

障がいの有無に関わらず、保育の中で個別に配慮が必要なお子さんと関わる場面は多いかと思います。例えば、耳からよりも目からの方が情報を理解しやすい子には、絵カード等を使って活動の流れを伝えてみたり、気持ちを落ち着ける場所として、一人になれるスペースを作ってみたりなど、個々の特性に応じて、さまざまな工夫をされているのではないのでしょうか。一人一人により良い保育を行うことを目指して試行錯誤を重ねることは、自分の保育力を高めることにも繋がりますね。また、関わりを通して子どもの成長を実感できた時の喜びは、大きなものだと感じます。そこで！ささいな対応でも構いませんので、皆さんが実践されてきた「こういう場面や状況の時に、こんな対応をしました/しています」といった「配慮が必要な子どもへの対応方法」をぜひ教えてください♪

【保育士就職支援研修・就職相談会】 【保育士就職支援セミナー】

ブランクが長くて不安...
保育の経験が無くて不安...

もう一度保育を学びたい！

身近な地域で保育の仕事を見つけない！

そんな方々を対象にした【就職支援研修・就職相談会】、【就職支援セミナー】を開催します！

【研修・相談会】

令和4年度 参加者の感想（一部抜粋）

【セミナー】

- ★保育者、園、子どもたちの実態について、映像と資料の両方から理解を深めることができた。
- ★面接ではなく相談に乗って下さる雰囲気なので、話がしやすかった。
- ★園の方から直接お話を伺えて参考になった。
- ★保育の仕事「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちになった。



- ★講義全体を通して体験しながら学ぶことができ、大変有意義でした。
- ★実習経験がなく不安でしたが、働く姿がイメージできる実践形式の講義もあって自信になりました。
- ★現場に出た時に、自分にできるだろうか？と不安に感じていたことが解消された。
- ★保育園の現状を知ることができてよかった。

申込方法等の詳細はセンターHPに掲載しています！皆様のご参加、ぜひお待ちしております♪

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

同封のアンケート用紙に是非ご意見やご感想をお寄せください。

「東京都保育人材・保育所支援センター」HPでは、「保育所への就職支援（マッチング）」欄にホイクマ通信のバックナンバーも掲載しています。併せてお楽しみください。

センターHP

東京都保育人材・保育所支援センター（東京都福祉人材センター内）

TEL:03-5211-2912 FAX:03-5211-1494

保育人材コーディネーターへの相談は平日9:00~17:30

（受付9:00~11:30/13:00~17:00）

X (Twitter) アカウント
@hoikuma

